

第28回 全国街路事業コンクール

全国街路事業促進協議会会長賞

富山県土木部都市計画課・富山土木センター

都市計画道路呉羽町袋線 富山大橋架替事業

都 市 名	富山県 富山市	事 業 主 体	富山県
事 業 概 要	本路線は、富山市と高岡市を最短距離で結ぶ主要幹線道路であり、本事業は、一級河川神通川に架かる富山大橋を含む富山市五福～安野屋間の約1.3kmを整備するものである。 架け替え前の富山大橋とその前後は2車線で、一日あたりの自動車交通量は約3万台あり、日常的に交通渋滞が発生し、歩行者・自転車の数も多く、すれ違いが困難であった。また、旧富山大橋は昭和11年の供用から70年以上が経過し老朽化も著しい状況だった。 本事業では、富山大橋の架け替え4車線化と歩道幅員の拡幅により、安全で円滑な交通の確保を図るとともに、路面電車の複線化により、公共交通の活性化やコンパクトなまちづくりの推進を目指した。また、立山連峰の眺望を阻害せず、旧橋の魅力を継承し発展させたデザインの採用により、良好な道路空間を創出するとともに、富山大橋架替記念事業による地域に根ざしたイベント展開により、小学生による高欄清掃が継続的に行われるなど“富山大橋を大切にする気持ち”の醸成に寄与した。 ○事業延長：道路改良区間 約1.3km（うち橋梁部466m）、路面電車複線化区間 約1.5km ○幅 員：32.5m（橋梁部30.5m） ○事 業 費：約240億円 ○事業期間：平成11年度～平成26年度		
表 彰 理 由	本事業は、車道の4車線化、歩道の拡幅、軌道の複線化により、渋滞緩和、安全な歩行空間の確保、路面電車の利便性向上などの優れた整備効果とともに、周辺景観に配慮した橋梁デザインが高く評価された。 また、富山大橋の架け替えを契機に、地域と連携したイベントを開催するなど、地域住民が土木施設を大切にする気持ちの醸成にも貢献したことも高く評価された。		

